

柔道競技専門部の対策

【入場について】

1. 参加者は、選手・監督・コーチ、保護者役員、大会役員・審判・試合場補助員・来賓等のみとする。保護者役員は各学校1名とする。ただし、団体戦参加の学校は2名とする。
（会場は、9月30日現在、600人という収容制限があり、昨年度大会出場選手数実績より換算）
2. 選手は、（別紙5）同意書を10月23日（金）大会申込締切日までに監督へ提出すること。また、選手・コーチは、（別紙1）体調記録表を大会2週間前から記入し、大会前日に監督に提出すること。（同意書は大会後1ヶ月学校保管）保護者役員もそれぞれ記入し、各自保管とする。
監督は、別紙1で選手・コーチの状況を確認し、（別紙2）学校同行者体調記録表にまとめ、（別紙4）応援者（保護者等）体調記録表と一緒に朝の受付に提出すること。体調不良者は参加を認めない。

各学校の提出物一覧（朝受付時）

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 参加料 |
| <input type="checkbox"/> （別紙2）学校同行者体調記録表 ← 選手・監督・コーチ分 |
| <input type="checkbox"/> （別紙4）応援者（保護者等）体調記録表 ← 来場予定保護者役員分 |

3. 館内ではマスクを必ず着用すること。ただし、選手に関して、高温多湿の環境下でのマスク着用が熱中症等の危険性につながると判断した場合は、マスクを外すよう指導すること。また、試合の前・後は人と十分な距離（2m以上）が確保できる場合のみ、マスクを外してよい。
4. 更衣室はとくに設けない。各自済ませて集合すること。必要であれば女子は会議室2・3、男子は観覧席で更衣を済ませる。
5. トイレに並ぶ場合は、十分な距離（2m以上）を空けること。
6. 試合を行っていない選手や保護者役員は、観覧席で十分な距離（2m以上）を保って観戦する。その際は大声を出しての応援はしないよう、チームで注意喚起を行うこと。
7. その他、三つの密「密閉・密集・密接」の回避や、「人と人との距離の確保」「手洗いなどの手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止対策を各自しっかり行うこと。

【試合について】

1. 開・閉会式は行わず、表彰式のみ行う。
2. 試合中の選手と審判はマスクを外すこと。
3. 試合後は補助員席テーブルに設置している手指消毒液で、必ず消毒を行うこと。また、試合終了のたびに、こまめな手洗いを行うこと。

4. ハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。
5. 試合中、監督・コーチのアドバイスは、マスクをつけた状態で「待て」の間に行くこと。また、試合直前後の生徒に対するアドバイスは、距離も取った上で行うこと。
6. 原則、紅白帯の貸し出しはしない。できる限り自校で準備すること。
7. 畳及び副審用の椅子の消毒は、1試合終了ごとに試合場補助員が行う。
8. 試合が連続する場合は、試合が終了してから3分後に次の対戦を開始する。
9. 給水はマイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有・使い回しをしないこと。

【保護者役員について】

1. 人数は各学校1名（ただし団体戦参加の学校は2名）のみ、救護係としての保護者の参加を認める。
2. **保護者役員は**、大会本部が用意したIDカードを着用する。IDカードがない場合は、会場への入場はできない。（IDカードは朝の受付時に配付する。）不正利用がないように責任を持つこと。受付時に提出した（別紙4）に記載された保護者の入れ替わりは認めるが、退館するときは（一時的な退館も含む）、必ず受付にIDカードを返却すること。

【その他】

1. 感染防止のために本部が決めた措置を遵守し、その指示に従うこと。
2. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、県中体連事務局へに速やかに濃厚接触者の有無について報告すること。
3. 各記録表提出や、参加者が遵守すべき事項について、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。
4. 本大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する場合がある。